

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学都松本いきいきノート事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (生涯学習課勤労青少年ホーム TEL 0263-26-1083/FAX 0263-25-5337)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	716,472 円 (うち支援金 : 537,000 円)

事業内容

地域に出て自ら考え行動し、学ぶ機会を充実させるため、子どもが地域で行った活動を記録するノートを配布し、地域活動への積極的な参加を促す。また、この事業を行うことで、地域全体で子どもを育てる体制をより充実させるきっかけとする。

- 1 対象 小学生
- 2 実施校数 12校
- 3 実施内容

(1) ノートの仕様

松本市の歴史や施設情報等が掲載されたノートと、児童が活動を記録するカードで構成する。カードは、家庭での活動を記録する「家庭用」と学校での活動を記録する「学校用」を作成した。

(2) カードの使い方

ア 家庭用

- (ア) 児童が子ども会の活動や公民館の講座等に参加した場合、参加者にシールを配布。児童はシールをカードに貼り、その日に行った活動を記録した。

【シールを配布する活動】

- ・公民館、博物館、美術館、図書館での講座や行事
- ・子ども会の活動

- (イ) その他、シールを配布しない地域での活動や行事等に参加した場合も、記録したカードを受入窓口に持参した児童にはシールを配布した。

【ノート受入窓口】 地区公民館、福祉ひろば、博物館、美術館、担任の先生

イ 学校用

学校の授業で地域に出て活動したり、地域のことを調べた際等には、学校用カードに記録した。

ウ 20ポイント達成者について

家庭用カードと、学校用カードが合計で20ポイントを達成した児童は、学校を通して生涯学習課に提出。児童には生涯学習課から賞状を贈った。



【ノートを活用し子どもたちに参加を呼び掛けた地域の行事(焼き芋会)】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①カードへの記録が20ポイントを達成した児童は、地域の伝統行事や草取り、資源回収等に参加し、地域の人との交流を深めたり、公民館や博物館等、地域の様々な施設に出かけ地域のことを学んだりしており、ノートが地域に出て活動するきっかけとなった。

【目標・ねらい】

- ①地域に出て自ら考え行動し、学ぶ機会を充実させるため、子どもたちの地域活動への積極的な参加を促す。
- ②地域全体で子どもを育てる体制をより充実させるきっかけとする。

②子どもたちの地域活動への参加を促そうと、ノートを活用しながら学校、子ども会育成会や町会等が協力して取り組んだ地区もあり、ノートが地域全体で子どもを育てる体制を作る一つのきっかけとなった。

※自己評価【 B 】

【理由】ノートが児童の地域活動への参加を促すきっかけとなるとともに、地域全体で子どもを育てる体制を作るきっかけともなったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、学都松本いきいきノートをきっかけとして生まれた学校や子ども会育成会、町会等の繋がりや協力体制を大切に、学校と地域の連携を強化し一体となって子どもの育成に取り組むことを目的とする「松本版・信州型コミュニティスクール」の取組み等とも連携しながら、地域全体で子どもを育てる体制の一層の充実を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある